

# 令和3年度 岩出市一般会計決算状況について

## ○決算規模、決算収支

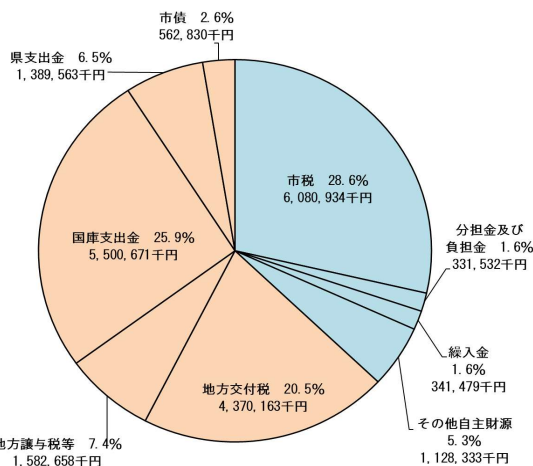
歳入総額	21,288,163千円	(前年度 25,164,038千円)	前年度比	15.4%減
歳出総額	20,647,938千円	(前年度 24,488,628千円)	前年度比	15.7%減
形式収支	640,225千円	(前年度 675,410千円)	前年度比	5.5%減
実質収支	502,078千円	(前年度 501,814千円)	前年度比	0.1%増

決算規模は、歳入歳出ともに前年度を下回りました。  
また、形式収支及び実質収支は引き続き**黒字**となっています。

## ○歳入の状況

歳入総額は21,288,163千円となり、前年度と比較すると3,875,875千円、15.4%減少しています。  
歳入の内、自主財源は7,882,278千円(全体の37.1%)となり、前年度と比較すると市税、繰入金及び諸収入の減少により332,768千円、4.1%減少しています。  
また、依存財源は13,405,885千円(全体の62.9%)となり、前年度と比較すると国庫支出金や市債等の減少により、3,543,107千円、20.9%減少しています。  
なお、歳入の内訳及び前年度との比較は以下のとおりです。

区 分	令和2年度	令和3年度	増減	増減率
市 税	6,096,018	6,080,934	▲15,084	▲0.2
分担金及び負担金	322,913	331,532	8,619	2.7
使用料及び手数料	178,683	183,369	4,686	2.6
財産収入	15,195	74,146	58,951	388.0
寄附金	12,831	12,869	38	0.3
繰入金	739,439	341,479	▲397,960	▲53.8
繰越金	538,127	675,409	137,282	25.5
諸収入	311,840	182,540	▲129,300	▲41.5
計	8,215,046	7,882,278	▲332,768	▲4.1
地方譲与税	123,910	127,540	3,630	2.9
利子割交付金	9,118	7,118	▲2,000	▲21.9
配当割交付金	35,576	57,344	21,768	61.2
株式等譲渡所得割交付金	40,381	64,085	23,704	58.7
法人事業税交付金	21,644	42,987	21,343	98.6
地方消費税交付金	1,027,605	1,131,683	104,078	10.1
ゴルフ場利用税交付金	4,920	5,725	805	16.4
自動車取得税交付金	0	0	0	-
環境性能割交付金	11,057	10,244	▲813	▲7.4
地方特例交付金	70,551	131,349	60,798	86.2
地方交付税	3,642,870	4,370,163	727,293	20.0
交通安全対策特別交付金	4,691	4,583	▲108	▲2.3
国庫支出金	9,363,349	5,500,671	▲3,862,678	▲41.3
県支出金	1,350,633	1,389,563	38,930	2.9
市債	1,242,687	562,830	▲679,857	▲54.7
計	16,948,992	13,405,885	▲3,543,107	▲20.9
歳入合計	25,164,038	21,288,163	▲3,875,875	▲15.4



**自主財源** (全体の37.1%)

…市が自主的に収入することができる財源

**依存財源** (全体の62.9%)

…国や県などから交付または割り当てられる財源

### ～歳入の主な増減要因～

- ・ 市 税：固定資産税等の減
- ・ 繰入金：基金繰入金の減
- ・ その他自主財源：公共施設省エネ改修完了に伴う補助金等の減
- ・ 地方交付税：普通交付税の増
- ・ 地方譲与税等：地方消費税交付金等の増
- ・ 国庫支出金：特別定額給付金事業完了に伴う補助金の減
- ・ 市 債：起債数の減

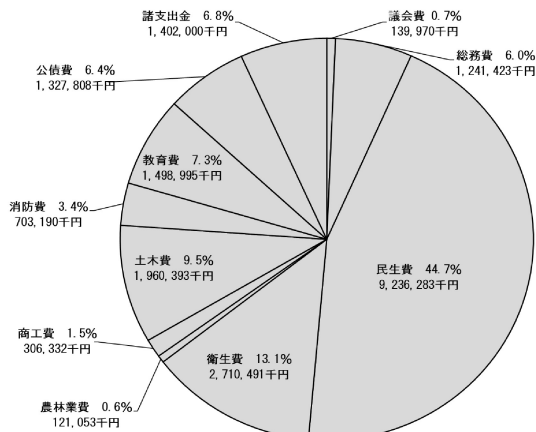
## ○歳出の状況

歳出総額は20,647,938千円となり、前年度と比較すると民生費や衛生費等は増加しましたが、総務費、消防費等の減少により、全体では3,840,690千円、15.7%減少となりました。

なお、目的別歳出の内訳及び前年度との比較は以下のとおりです。

(単位：千円、%)

区	分	令和2年度	令和3年度	増減	増減率
議	会	154,658	139,970	▲ 14,688	▲ 9.5
議	務	6,751,290	1,241,423	▲ 5,509,867	▲ 81.6
民	生	8,244,614	9,236,283	▲ 991,669	12.0
衛	生	2,340,304	2,710,491	▲ 370,187	15.8
農	林	142,417	121,053	▲ 21,364	▲ 15.0
商	工	215,750	306,332	▲ 90,582	42.0
土	木	1,808,900	1,960,393	▲ 151,493	8.4
消	防	1,057,672	703,190	▲ 354,482	▲ 33.5
教	育	1,717,650	1,498,995	▲ 218,655	▲ 12.7
災	害	0	0	0	-
公	債	1,262,383	1,327,808	▲ 65,425	5.2
諸	支	792,990	1,402,000	▲ 609,010	76.8
予	備	0	0	0	-
歳	出	24,488,628	20,647,938	▲ 3,840,690	▲ 15.7



### ～歳出の主な増減要因～

- ・ 総務費：特別定額給付金事業完了による減
- ・ 民生費：臨時特別給付金事業等による増
- ・ 衛生費：新型コロナウイルスワクチン接種事業による増
- ・ 商工費：事業所応援給付金の増
- ・ 土木費：道路新設改良事業等による増
- ・ 消防費：防災公園整備事業完了等による減
- ・ 教育費：小中学校無線LAN環境整備事業完了による減
- ・ 公債費：地方債償還額の増
- ・ 諸支金：基金積立金の増

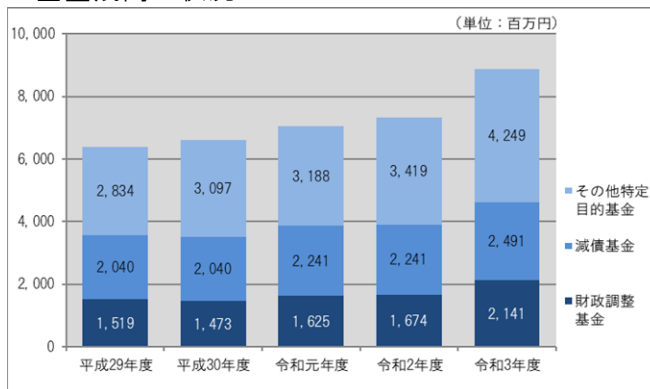
## ○基金残高、地方債残高の状況

基金残高	8,881,015千円	(前年度 7,333,604千円)	前年度比 21.1%増
地方債残高	5,560,015千円	(前年度 6,305,036千円)	前年度比 11.8%減

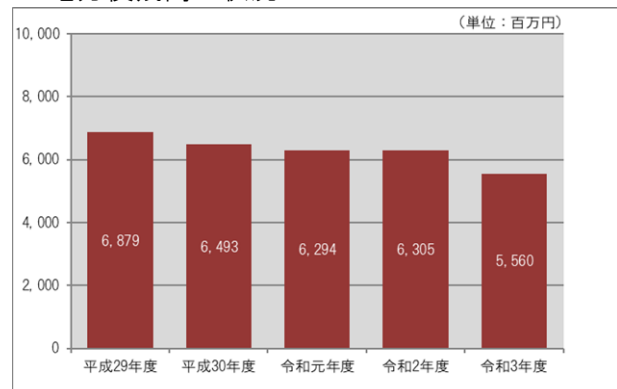
令和3年度末時点の基金残高は8,881,015千円で、前年度と比較すると1,547,411千円、21.1%の増となりました。地方債残高は5,560,015千円で、前年度と比較すると745,021千円、11.8%の減となりました。

地方債残高は減少する一方で、基金残高は増加しており、健全な財政運営が図られています。なお、過去5年間のそれぞれの残高の推移は以下のとおりです。

### ■基金残高の状況



### ■地方債残高の状況



○市民一人当たりの決算額

人	口	54,105人	(令和4年3月末時点)
歳	入	393,460円	(歳入のうち市税 112,391円)
歳	出	381,627円	

※表示単位未満は四捨五入しています。

令和4年3月末時点における人口は54,105人で、市民一人当たり換算すると歳入は393,460円、歳出は381,627円となります。また、歳入のうち市民の皆さまから納付いただいた市税は一人当たりすると112,391円で、歳出の用途別内訳は以下のとおりとなります。

区分	一人あたり 金額 (円)	支出の内容
議 会 費	2,587	市議会の運営に要する経費
総 務 費	22,945	市の全般的な管理事務、徴税事務、戸籍住民基本台帳事務等に要する経費
民 生 費	170,710	児童手当、保育所運営等の児童福祉、後期高齢者医療給付等の高齢者福祉、障害者総合支援給付等の障害者福祉など福祉の向上に要する経費
衛 生 費	50,097	各種がん検診、予防接種等の保健事業、ごみの収集・処理、浄化槽の設置補助などの衛生事業等に要する経費
農 林 業 費	2,237	農林業の振興や、農道・水路・ため池等の農業用施設の改修等に要する経費
商 工 費	5,662	産業振興や観光対策に要する経費
土 木 費	36,233	道路、河川、公園、公営住宅、下水道等の公共施設の建設改良に要する経費
消 防 費	12,997	防災訓練等の予防啓発、初期消防活動等に要する経費
教 育 費	27,705	小中学校教育、生涯教育に要する経費
災 害 復 旧 費	0	災害発生時に被災した農業施設、道路施設等の復旧に要する経費
公 債 費	24,541	市の借金（地方債）の返済に要する経費
諸 支 出 金	25,913	市が継続的に事業を実施していくための基金の積立等に要する経費
合 計	381,627	

預 金 ( 基金残高 )	164,144円
借 金 ( 地方債残高 )	102,763円

※表示単位未満は四捨五入しています。

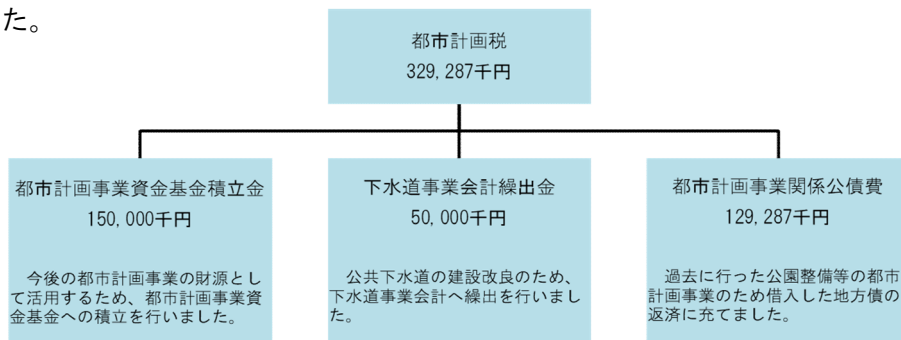
基金残高は一般家計における預金に該当し、市民一人当たりで164,144円となりました。また、地方債残高は一般家計における借金に該当し、102,763円となりました。

## ○目的税等の使途

### 都市計画税の使途状況

都市計画税は、都市計画事業・土地区画整理事業に要する費用の一部を負担していただくための目的税です。主な使途としては、街路整備事業、下水道事業、公園整備事業などがあります。

令和3年度の都市計画税（329,287千円）は、以下のとおり都市計画事業費等の財源として活用しました。



### 地方消費税交付金（社会保障財源化分）の使途状況

社会保障の安定財源の確保を図る税制の抜本的な改革を行うため、平成24年度8月に消費税法及び地方税法が改正され、平成26年4月1日から、消費税および地方消費税の税率が5%から段階的に引き上げられ、令和元年10月1日から、消費税率及び地方消費税の税率が10%へ引き上げられました。

この引き上げ分に係る地方消費税交付金については、全て「社会保障施策に要する経費」に充てることとされています。

令和3年度における地方消費税交付金1,131,683千円のうち674,457千円が社会保障財源化分であり、この収入については社会保障施策に要する経費の一般財源3,942,000千円の一部として活用しました。

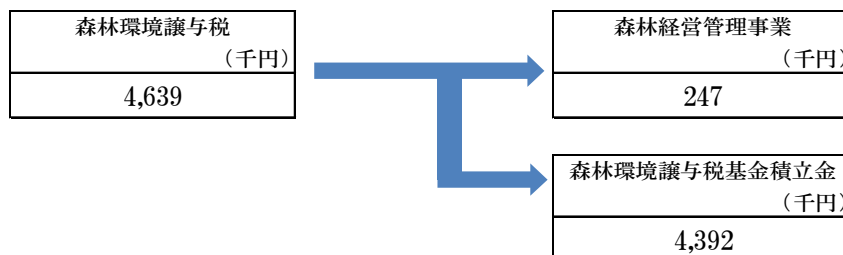
地方消費税交付金 (千円)		→	社会保障施策に要した経費 (千円)	
	うち社会保障財源化分			うち一般財源
1,131,683	674,457		7,925,000	3,942,000

※百万円未満四捨五入で表示しています。

### 森林環境譲与税の使途状況

間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する財源に充てるため、令和元年度より森林環境譲与税が創設されました。

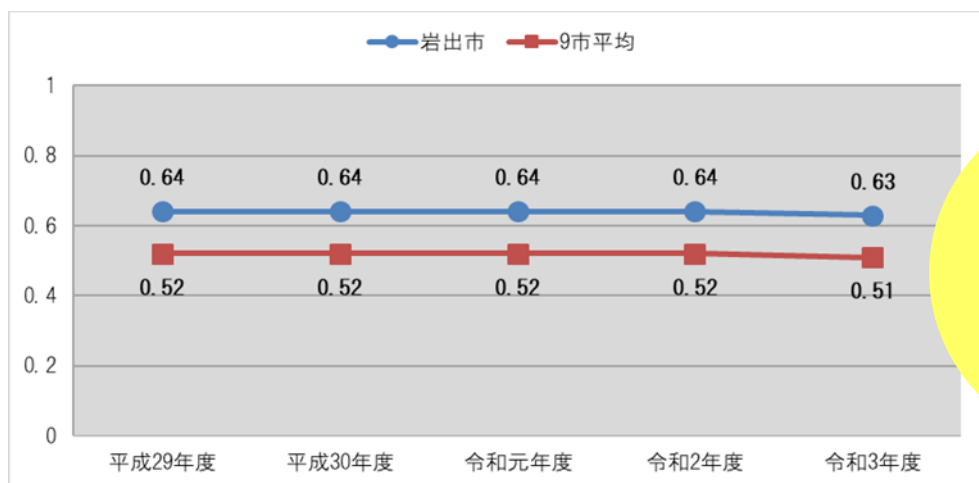
令和3年度における森林環境譲与税4,639千円のうち、247千円を森林経営管理事業に充て、残り全額を森林環境譲与税基金へ積立てました。



## ○財政指標の状況

### ・財政力指数

標準的な行政サービスを提供するためのお金（市税等）を市単独の収入で賄える割合で、数値が大きいほど財政に余裕があることを表します。

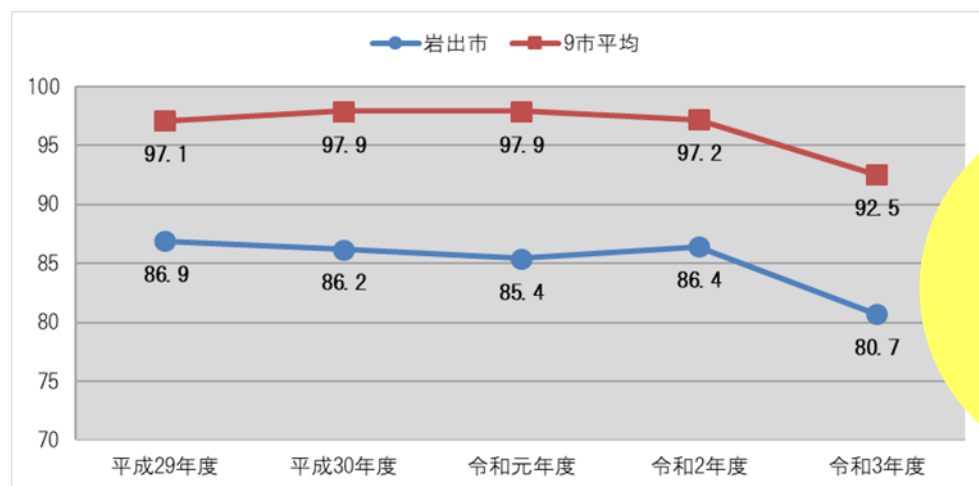


令和3年度  
和歌山県内  
9市中  
第2位

岩出市 0.63  
9市平均 0.51

### ・経常収支比率

借金の返済などの義務的な費用に、市税等の経常的なお金が使われる割合で、比率が低いほど財政にゆとり・柔軟性があることを表します。



令和3年度  
和歌山県内  
9市中  
第1位

岩出市 80.7  
9市平均 92.5

### ・健全化判断比率

各指標については以下のとおりとなり、実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率は昨年度同様「なし」で、実質公債費比率は、4.0%となりました。

指標	内容	岩出市	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の程度を指標化したもの	なし	13.13%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別会計及び企業会計も含めた赤字の程度を指標化したもの	なし	18.13%
実質公債費比率	全ての会計における借金の返済額の大きさを指標化したもの	4.0%	25.0%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債（借金など）の残高を指標化したもの	なし	350.0%

※早期健全化基準を上回ると、財政健全化に向けた取組を進めなければなりません。